2024 年度日本認知症ケア学会・認知症ケア賞　功労賞

佐々木　　薫　（ささき　かおる）
元社会福祉法人仙台市社会事業協会

【授賞理由】

佐々木氏は，仙台楽生園ユニットケア施設群を運営するなど，長年にわたり認知症ケアの実践に取り組んできました．地域交流プラザの設立や認知症ケアの人材育成，研修プログラムの企画実施を通じて，認知症患者とその家族の生活の質を向上させるための多大な貢献をしています．また，認知症資源マップの作成や地域支え合いセンターの設立など，共生社会の実現に向けた活動も積極的に行っており，その活動は県や国の施策にも反映されています．これらの実績により，認知症ケアの分野で顕著な功績を挙げたとして，認知症ケア賞（功労賞）の受賞に相応しいといえます．

【略歴】

1982 年　4 月～1982 年　6 月　仙台母子寮
1982 年　7 月～1994 年　6 月　柏木保育園
1994 年　7 月～2005 年 11 月　特別養護老人ホーム仙台楽生園
1994 年　7 月～2005 年 11 月　葉山在宅介護支援センター
2005 年 12 月～2024 年　3 月　仙台楽生園ユニットケア施設群

【褒賞】

・全国社会福祉協議会会長　表彰
・仙台市長（介護認定審査会委員）表彰
・厚生労働大臣　表彰

【業績等】

施設や在宅，地域の高齢者，認知症の人の生活の質向上を目的に，様々なネットワークの構築に取り組み始めたことを契機に，仙台市老人福祉施設交流会を立ち上げました．施設職員の研修や交流，調査研究等を通じて，老人福祉の充実や職員の質の向上を図ってきました．

認知症介護指導者となった後，様々な認知症研修の企画や研修講師を務め，認知症ケアに関わる人材育成を行ってきました．認知症ケアの人材を育成するには，指導者の質の向上を図ることが重要であると考え，一般社団法人全国認知症介護指導者ネットワークを設立し，初代会長の職務につきました．介護保険 10 事業を統合した仙台楽生園ユニットケア施設群を立ち上げ，総括施設長の職務につきました．地域住民や認知症の人が気軽に立

ち寄れる地域交流プラザを併設し，年間 2 万人以上もの人が利用する地域交流拠点へと発展しました．

また，地域団体と協働して，共生社会の実現を図るために認知症資源マップの作成や支え合いセンターを設立しました．最初は小さな集まりが，様々な人の知見が集約され，最終的には，大きなネットワークに発展していると感じています．認知症ケアをはじめ，災害対策や新型コロナウイルス対策の取り組みが全県的，全国的な団体に繋がるものも多く，県や国などの施策にも反映している場合もあります．また，認知症の当事者と共に活動することも多く，パートナーとして対等に活動をしている中，これらの活動が仙台市認知症対策推進会議副会長，認知症ケア学会東北地域部会長，日本認知症グループホーム協会常務理事，厚生労働省介護現場革新会議委員としても活かされ，更なる認知症ケアの向上に繋がっていると考えます．

今後の私の活動予定は，認知症ケアの推進や人材育成を積極的に行うとともに，宮城の認知症をともに考える会やオレンジドアの世話人として，認知症当事者の方と協議しながら，講演会等の実施や，認知症の人やその家族が地域の中で安心して暮らせる社会の実現に向けて，認知症条例の制定にも取り組んでいる最中です．